



平成26年度

幼稚園教職10年経験者研修の手引



栃木県教育委員会

目 次

I	幼稚園教職 10 年経験者研修実施要項	1
II	幼稚園教職 10 年経験者研修の概要	
1	本県における幼稚園教職 10 年経験者研修の方針	2
2	幼稚園教職 10 年経験者研修体系図	3
III	受講手続きの流れ	
1	公立幼稚園	4
2	国・私立幼稚園	5
IV	総合教育センター等における研修	
1	趣旨	6
2	日程及び内容	6
V	園内等における研修	
1	趣旨	7
2	研修日数	7
3	研修内容及び方法	7
4	指導体制	7
5	実施上の配慮事項	7
VI	課題研究	
1	趣旨	8
2	研究テーマの設定	8
3	研究の進め方	8
4	研究の実施報告	8
	〔資 料〕	
○	提出書類【様式】	9
○	提出書類【記入例】	17
○	提出文書等チェックリスト	24

I 幼稚園教職10年経験者研修実施要項

栃 木 県 教 育 委 員 会
平成16年1月 7日 決 定
平成21年3月13日 改 正

1 目 的

本研修は、教育公務員特例法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性等に応じた研修を実施し、中堅教員としての指導力の向上を図ることを目的とする。

2 対 象

県内公立幼稚園の教諭等のうち、在職期間が11年を迎える者とする。ただし、国・私立幼稚園の教諭等の参加も認めることとする。

3 内 容

幼稚園教職10年経験者研修（以下「経験者研修」という。）は、保育の専門性を高める研修や今日的課題についての研修などを主な内容とし、次の日数行うものとする。

- (1) 総合教育センター等における研修 6日
- (2) 園内等における研修 10日

4 研修の実施方法

- (1) 園長は、研修の実施に当たり、公立幼稚園においては市町村教育委員会、国・私立幼稚園においては任命権者に当たる者（以下「任命権者」という。）の作成した評価基準により、事前に観察などを通して、個々の教諭等の能力、適性等について評価を行い、その結果に基づき評価案及び研修計画書案を作成し、任命権者に提出する。
- (2) 任命権者は、園長から提出された評価案と研修計画書案について調整を行った後、最終的に評価を決定し研修計画書を作成する。
- (3) 経験者研修の対象者は、研修計画書に基づき、長期休業期間等に、総合教育センター等において、保育に関する専門的研修等を年間6日受けるものとする。
- (4) 経験者研修の対象者は、研修計画書に基づき、主として園内において、課業期間に実際の保育実践を通じた保育研究や課題研究等を通じた研修を年間10日受けるものとする。
- (5) 園長は、研修終了時に、個々の能力、適性等の評価を再び行い、その結果に基づき報告書を作成し、任命権者に提出する。また、評価の結果はその後の研修等に活用するものとする。

5 研修体制の整備

- (1) 園長は、研究計画書に基づく研修が円滑に実施できるよう、研修環境の整備に努めるものとする。
- (2) 園長は、経験者研修の実施状況を把握し、年間を通して系統的、組織的な研修が行われるよう努めるものとする。

6 実施協議会

- (1) 県教育委員会は、次の事項について協議を行うため、実施協議会を設置する。
 - ① 研修計画
 - ② 評価基準
 - ③ その他実施上の諸問題
- (2) 実施協議会の設置要綱は、別に定めるとする。

7 その他

この要項に定めるもののほか、経験者研修の実施に関して必要な事項は別に定める。

附則

この要項は、平成16年4月1日から実施する。

附則

この要項は、平成21年4月1日から実施する。

Ⅱ 幼稚園教職 10 年経験者研修の概要

1 本県における幼稚園教職 10 年経験者研修の方針

幼稚園教育は学校教育の出発であり、幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることから、10 年を経験した教員が個々の能力や適性等に応じ、各園での中堅としての役割を果たせる指導力を養うことは重要な課題である。

また、少子化、核家族化、都市化・過疎化、国際化、情報化などの幼児を取り巻く社会変化により、幼稚園が地域において果たす役割も増えてきている。

そのような中、幼稚園教員として 10 年を経験した教員に求められる資質には、以下のことが考えられる。

- 幼稚園教育要領に基づく教育課程や指導計画を作成・修正し、それに沿って保育を実践したり改善したりする能力
- 幼稚園全体を見渡し、幼稚園が組織的に機能するよう園長等をサポートしたり、後輩を指導したりする能力
- 幼児一人一人の発達の特性や課題を把握し、個に応じた指導ができる能力
- 保護者等に対し、子どもの発達の過程やしつけなどに関する啓発を行ったり、育児に関する相談に応じたりするなど子育ての支援をする能力

そこで、中堅教員としての資質向上を図るため、総合教育センターにおける保育の専門性を高める研修や幼稚園に求められている今日的課題等についての研修及び自らの課題や適性等に応じた園内研修等を取り入れ、以下のような重点項目を設定し実施する。

(1) 子どもの発達を的確に見通した教育

- ・ 幼児期から児童期への教育や接続期の指導の在り方等に関する講話と演習、協議
- ・ 保育参観を通した保育の改善やカリキュラムの工夫に関する協議

(2) 今日的課題に対応した幼稚園の在り方

- ・ 幼児教育の方向性を踏まえた教育課程や子育ての支援に関する講話と演習、協議
- ・ 特別支援教育に関する講話と演習、協議

(3) 中堅教員（主任）としての役割

- ・ 幼児教育の方向性やミドルリーダーとしての役割等に関する講話と演習、協議
- ・ 幼稚園における組織マネジメントに関する講話と演習、協議

2 幼稚園教職10年経験者研修体系図

能力・適性等の評価・研修計画書の作成《4・5・6月》

- 園長は、任命権者の作成した評価基準に基づき、事前に観察などを通して個々の教諭等の能力・適性等について評価を行い、その結果に基づき評価案と研修計画書案を作成し、任命権者に提出する。
- 任命権者は、園長から提出された評価案及び研修計画書案について調整を行い、最終的に評価を決定し研修計画書を作成する。



総合教育センターにおける研修（6日）		園内等における研修（10日）
4月 ～ 7月	開講式 ※他校種の10年目研修と合同 講話「本県の義務教育の現状と課題」 講話「本県の幼児教育の現状と課題」 研修オリエンテーション	【課題研究のテーマに基づく研修】 ○園内研修の企画・運営 ○園の諸課題に対する対応 ○保育参観及び保育研究 ○地域や関係機関との連携 ○外部研修への参加 等
夏季休業	講話・演習 「幼稚園における組織マネジメント」 「学校力を高める園内研修」 講話・協議 ※小・中20年目研修と合同 「幼児期から児童期の教育」 「協同する経験とは」 講話・演習 「幼稚園における特別支援教育」 「子ども・子育て支援新制度」	
9月 ～ 12月	保育参観 「環境を通じた教育とは」 協議 「保育の改善とカリキュラムの工夫」	
1月 ～ 3月	実践報告 「課題研究の成果と課題」 閉講式 ※他校種の10年目研修と合同	



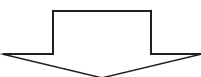
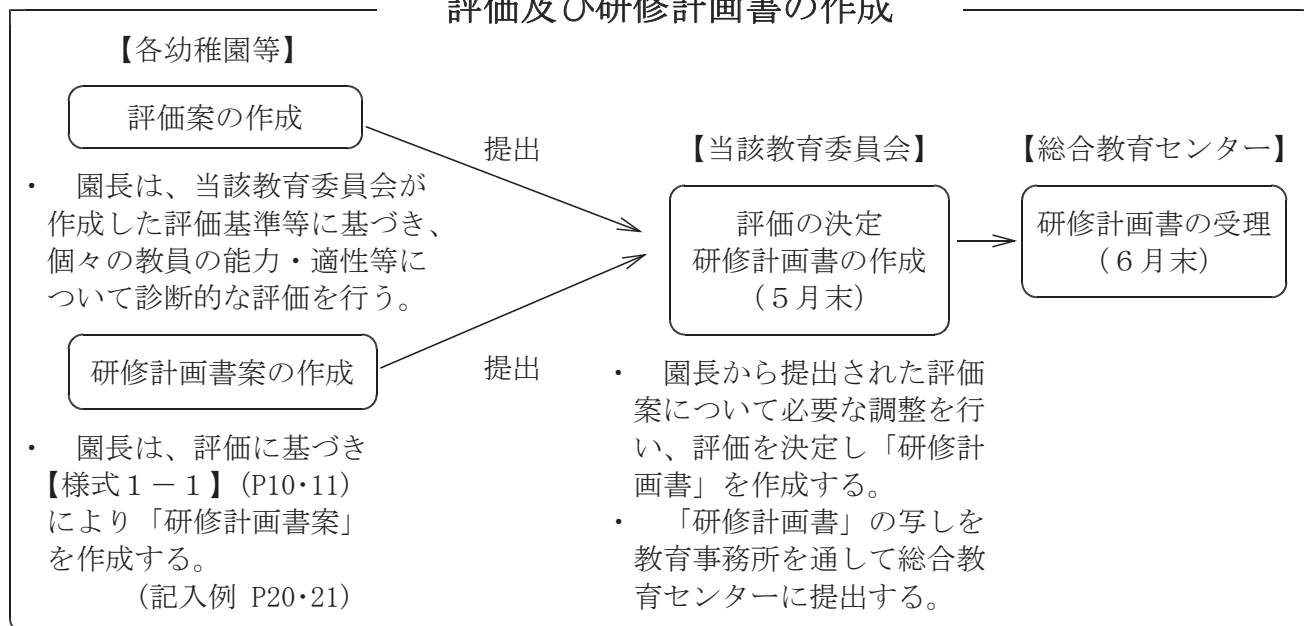
研修成果の評価《年度末》

- 研修終了時に、個々の能力、適性等を再び評価し、その結果をその後の研修等に活用する。

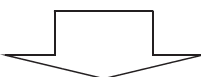
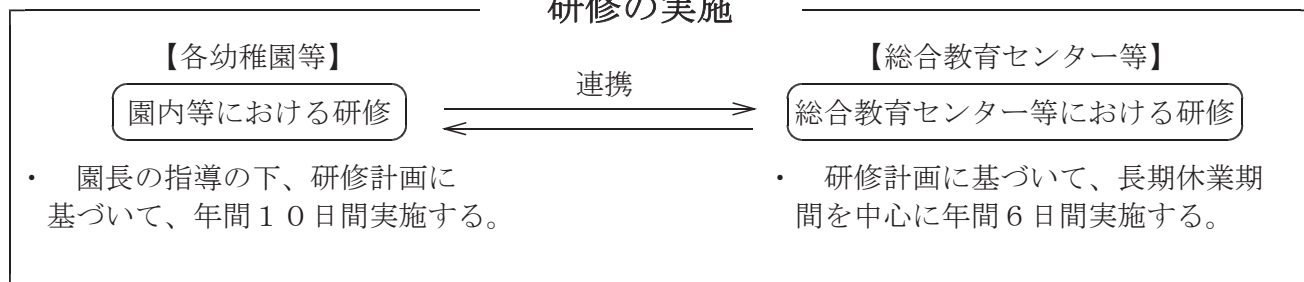
Ⅲ 受講手続きの流れ

1 公立幼稚園

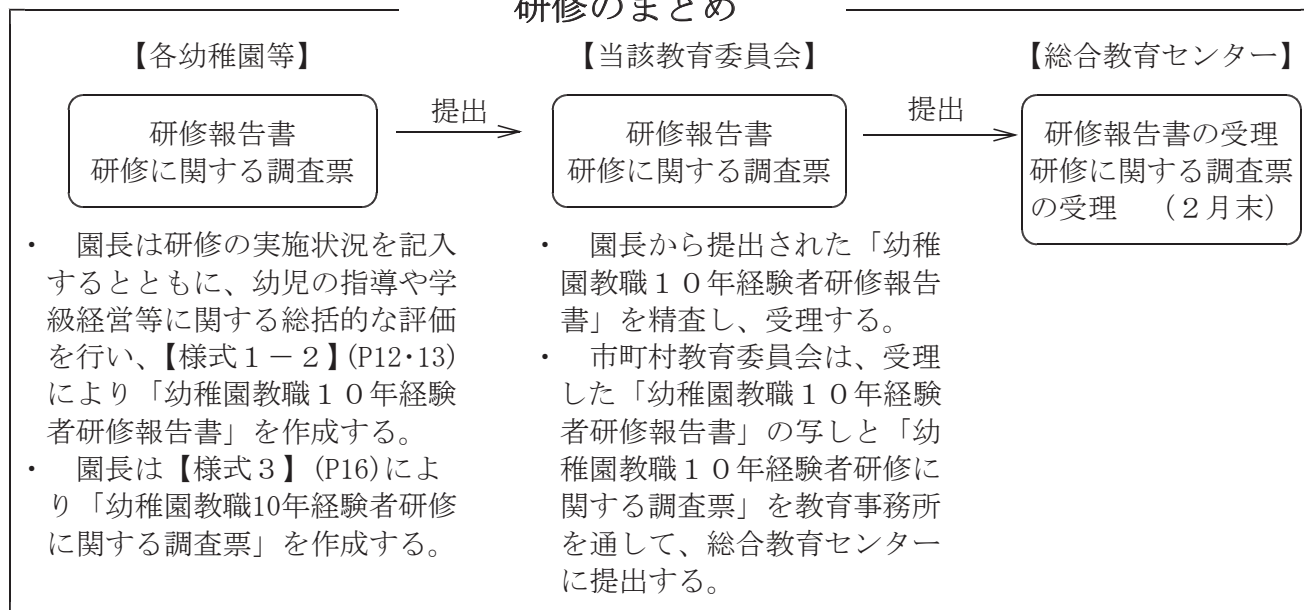
評価及び研修計画書の作成



研修の実施



研修のまとめ



2 国・私立幼稚園

評 価

【各幼稚園等】

評価の実施及び決定

- ・ 園長は、県教育委員会が示した評価表例（P18・19）を参考にし評価表を作成し、個々の教員の能力・適性等について、診断的な評価を行い評価を決定する。

研修計画書の作成

【各幼稚園等】

研修計画書の作成

提出

【総合教育センター】

研修計画書の受理
(6月末)

- ・ 園長は、評価に基づき、【様式1-1】（P10・11）により「研修計画書」を作成し、総合教育センターに提出する。

研修の実施

【各幼稚園等】

園内における研修

連携

【総合教育センター等】

園外における研修

- ・ 園長の指導の下、研修計画に基づいて、年間10日間実施する。
- ・ 研修計画に基づいて、長期休業期間を中心に年間6日間実施する。

研修のまとめ

【各幼稚園等】

研修報告書
研修に関する調査票

提出

【総合教育センター】

研修報告書の受理
研修に関する調査票の受理
(2月末)

- ・ 園長は、研修の実施状況を記入するとともに、幼児の指導・学級経営その他に関する総括的な評価を行い今後の研修に生かしていく。
また、【様式1-2】（P12・13）により「幼稚園教職10年経験者研修報告書」を作成し、総合教育センターに提出する。
- ・ 園長は【様式3】（P16）により「幼稚園教職10年経験者研修に関する調査票」を作成し、総合教育センターに提出する。

IV 総合教育センター等における研修

1 趣旨

総合教育センター等における研修は、幼児の発達を理解や環境を通して行う保育の在り方等に関して、広い視野に立った豊かな識見、確かな理論、優れた実践的指導力等を養うことを目的とする。

2 日程及び内容

区分	期日	曜	研 修 内 容	開催時間・会場 等
第 1 日	5/19	月	【他校種の10年目研修と合同】 開講式 講話「10年目教職員への期待」 県教育委員会教育長 講話「本県の義務教育の現状と課題」 県教育委員会学校教育課職員 講話「本県の幼児教育の現状と課題」 県幼児教育センター長 研修オリエンテーション 他	9時30分～16時 (受付9時) 総合教育センター
第 2 日	7/22	火	講話・演習 「幼稚園における組織マネジメント」 大学職員 講話・演習 「学校力を高める園内研修」 県総合教育センター研究調査部職員	9時30分～16時 (受付9時) 総合教育センター
第 3 日	8/1	金	講話・協議 ※小・中20年目研修と合同 「幼児期から児童期の教育」 県幼児教育センター職員 講話・演習 「協同する経験とは」 県幼児教育センター職員	9時30分～16時 (受付9時) 総合教育センター
第 4 日	8/29	金	講話・演習 「幼稚園における特別支援教育」 県幼児教育センター職員 講話・演習 「子ども・子育て支援新制度」 県幼児教育センター顧問	9時30分～16時 (受付9時) 総合教育センター
第 5 日	11/5	水	保育参観 「環境を通した教育とは」 協議 「保育の改善とカリキュラムの工夫」	9時～15時30分 (受付8時45分) 宇都宮大学附属幼稚園
第 6 日	1/6	火	実践報告 「課題研究の成果と課題」 【他校種の10年目研修と合同】 講話「今、教職員に求められるもの」 大学職員 閉講式	9時30分～16時 (受付9時) 総合教育センター

V 園内等における研修

1 趣旨

園内研修は、総合教育センター等における研修において習得した知識や経験をもとに、研修教員の能力、適性等に応じた研修を行うことによって、個々の専門性の向上や得意分野の伸長を図る。

2 研修日数

研修は、年間10日実施する。

3 研修内容及び方法

(1) 内容

研修内容は、評価の結果に基づき、「園内等における研修項目（例）」(P22・23)を参考に設定する。

(2) 方法

研修は、基本的に園内において実施し、園長等の指導及び助言を受けるものとする。

4 指導体制

(1) 園長は、教職員全体に対し、本研修の内容及び運営について理解を求めるとともに、園や研修教員の実情、指導内容と園務分掌との関連等に配慮して、園内等における研修の推進体制を作る。

(2) 園長等は、研修教員に対し、講話や保育研究等の指導及び助言を行い、年間を通して計画的、組織的な研修となるよう、園内教職員との連絡・調整を図る。

5 実施上の配慮事項

園長は、研修教員の園務分掌や経験の状況に応じ、研修方法や形態を工夫するとともに、研修教員本人の自己評価や意見等を聴取することによって、研修教員が主体的に研修できるよう配慮する。

VI 課題研究

1 趣旨

研修教員の資質・能力や園の実情に応じて、幼児教育における今日的な課題をもとに研究テーマを設定し、主体的に課題の解明に取り組むことにより、実践的指導力の向上を図る。

2 研究テーマの設定

次のような例を参考にし、研究テーマを設定する。

《研究テーマの例》

- ・教育課程、指導計画の工夫・改善
 - ・協同して遊ぶようになるための教師の援助
 - ・規範意識の芽生えを培う経験
 - ・発達障害の理解と保育
 - ・小学校との連携
 - ・親も子も育つ子育ての支援
 - ・同僚性を発揮した園内研修の在り方
 - ・PDCAサイクルを生かした学校評価
- 等

3 研究の進め方

- (1) 研修教員は、園の実情や各自の課題意識、総合教育センター等における研修の第1日（5/19）の研修オリエンテーション等をもとに、研究テーマを設定する。第2日（7/22）に、【様式2—1】（P14）「課題研究計画書」を持参する。
- (2) 研修教員は、課題研究の実施計画について、園長等の指導及び助言を得ながら第6日（1/6）までに自主的、計画的に課題を追究する。その際、課題研究の検証の場として園内等における研修でテーマに基づく保育参観・研究を行ったり、カリキュラムの見直し、改善をしたりすると効果的である。
- (3) 研修教員は、園長や総合教育センター職員等からの指導及び助言を参考にして研究を進め、総合教育センター等における研修の第6日（1/6）に、課題研究成果発表を行う。

4 研究の実施報告

研修教員は、総合教育センター等における研修の第6日（1/6）に、【様式2—2】（P15）「課題研究報告書」及び課題研究成果発表資料を持参し、提出する。

提出書類【様式】

- 【様式 1－1】 幼稚園教職 10 年経験者研修計画書
- 【様式 1－2】 幼稚園教職 10 年経験者研修報告書
- 【様式 2－1】 課題研究計画書
- 【様式 2－2】 課題研究報告書
- 【様式 3】 幼稚園教職 10 年経験者研修に関する調査票

（注）文書の形式は A 4 判、縦長、横書きとします。

※様式については、総合教育センターホームページよりダウンロードできます。



【様式 1 — 1】

幼稚園教職10年経験者研修計画書

園名

氏名

◇総合教育センター等における研修

期日	研修名及び研修場所、主催者等	研修内容等

◇園内等における研修

期日	研修名及び研修場所、時間等	研修内容及び参加者等

(公立幼稚園)
 ○○教育委員会教育長 様
 (国・私立幼稚園)

平成 年 月 日

栃木県総合教育センター所長 様

上記を当該研修教員の研修計画とします。

幼稚園名
 園 長 名

印

【様式 1—2】

幼稚園教職10年経験者研修報告書

園名

氏名

◇総合教育センター等における研修

期日	研修名及び研修場所、主催者等	研修内容及び成果等

◇園内等における研修

期日	研修名及び研修場所、時間等	研修内容及び成果等

(公立幼稚園)

〇〇教育委員会教育長 様

平成 年 月 日

(国・私立幼稚園)

栃木県総合教育センター所長 様

上記を当該研修教員の研修報告とします。

幼稚園名

園 長 名

印

【様式 2—1】 課題研究計画書

平成〇〇年度教職 10 年経験者研修課題研究計画書

園 名

氏 名

1 研究テーマ

2 テーマ設定の理由

3 課題研究の主な内容

【様式 2—2】 課題研究報告書

平成〇〇年度教職 10 年経験者研修課題研究報告書

園 名

氏 名

1 研究テーマ

2 テーマ設定の理由

3 課題研究の主な内容

4 研究の成果と今後の課題

【様式3】幼稚園教職10年経験者研修に関する調査票

幼稚園名

園長名

印

☐ 研修教員の該当する職名を○で囲んでください。

教諭（学級担任）・教諭（副担任等）・教務主任・学年主任・その他（ ）

☐ 今年度の研修につきまして、お気付きの点がございましたら御記入ください。

1 研修の日程など運用面について

--

2 取り入れてほしい研修など内容面について

--

3 研修教員の今後の活躍や活用について

--

4 その他 自由意見

--

提出書類【記入例】

幼稚園教職 10 年経験者研修評価表（例）

研修計画書（例）

園内等における研修項目（例）



幼稚園教職10年経験者研修評価表（例）

※評価の基準は以下の通り

A：在職期間が10年を経過した教諭に求められる資質・能力を十分満たしている。

B：在職期間が10年を経過した教諭に求められる資質・能力を満たしている。

C：在職期間が10年を経過した教諭に求められる資質・能力を満たしていない。

幼稚園名	(研修前評価年月日) 平成 年 月 日
研修教員氏名	(研修後評価年月日) 平成 年 月 日
	(園長名) 印
	(任命権者) 印

項目	種 類	詳 細 等	評 価			留意すべき事項
			A	B	C	
1 幼 児 の 保 育 に 関 する 評 価 項 目	(1) 計画	① 園の教育課程の具体的実施計画として、長期、短期の指導計画を構造的に作成している。 ② 個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している。 ③ 日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに教員間で話し合い、次の指導計画に生かしている。 ④ ティーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い指導計画を作成している。	研修前			
			研修後			
	(2) 環境の設定	① 幼児の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している。 ② 他学級との関係、自然環境、地域の特徴などを生かす保育の場の設定をしている。 ③ 季節や1日の流れなどの時間的要因も環境として捉え、保育に生かすよう配慮している。 ④ 幼児の実際の活動に合わせ、的確に環境を再構成できる。	研修前			
			研修後			
	(3) 保育の方法・展開	① 個々の幼児の特性を理解し、担当の幼児同士の関係を的確に把握している。 ② 温かい態度で受けとめることによって、幼児の緊張、不安をうまく解消している。 ③ 個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築くことができる。 ④ 幼児と共に動き、活動することを心から楽しむことができる。 ⑤ 幼児と共感し、満足感や心の安定を与えている。 ⑥ 活動の中で、善悪の判断、思いやりの気持ちなどを適切な言葉と行動で示している。 ⑦ 個々に応じた適切な援助を行っている。	研修前			
			研修後			
	(1) 学級経営	① 個々の幼児を学級の一員として大切にすることで、幼児同士もお互いを大切にしている学級になっている。 ② 施設設備の安全管理、幼児への安	研修前			

2 学級経営その他に関する評価項目		全指導が万全である。	研修後		
	(2) 保護者への対応	① 家庭との連携が緊密で、個々の幼児について、入園前や家庭などでの生活の様子を把握し保育に生かしている。 ② 保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすとともに子育ての相談相手となっている。 ③ 事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である。	研修前		
			研修後		
	(3) 地域との関係	① 機会をとらえて地域の人に幼稚園を理解してもらうよう、努力している。 ② 地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある。 ③ 地域の人材、施設、自然などを保育に組み入れようという意識を持っている。	研修前		
			研修後		
	(4) 園務	① 園全体の運営方針・目標を把握し職務全般に反映させている。 ② 園の運営について自分のこととして常に考え、職員会議等においても建設的な発言をしている。 ③ 必要に応じて園長などにきちんと報告、連絡、相談を行っている。	研修前		
研修後					
(5) 向上心	① 自分の保育の評価を的確に行い、改善を図っている。 ② 園や連合会など職場が用意した研修機会に積極的に参加し資質向上に努めている。 ③ 自主的に園外の研修等に参加し、成果を実践に生かしている。 ④ 新しい保育の進め方、行事の在り方について創意工夫し、積極的に取り組んでいる。	研修前			
		研修後			
3 研修履歴等の経験等	(1) 研修履歴				
	(2) これまでの勤務園における研修への関わり				
	(3) 研究団体における活動				
	(4) その他				
4 今後の研修方針	(研修終了後)				

研修計画書（例）

園名

氏名

◇総合教育センター等における研修

期日	研修名及び研修場所、主催者等	研修内容等
5/○	総合教育センター主催 場所：総合教育センター	開講式【他校種の10年目研修と合同】 講話「10年目教職員への期待」 講話「本県教育の現状と課題」
7/○	総合教育センター主催 場所：総合教育センター	講話・演習 「幼稚園における組織マネジメント」 講話・演習 「学校力を高める園内研修の在り方」
11/○	総合教育センター主催 場所：宇都宮大学附属幼稚園	保育参観 「環境を通した教育とは」 協議 「保育の改善とカリキュラムの工夫」

◇園内等における研修

期日	研修名及び研修場所、時間等	研修内容及び参加者等
5/○	園内研修の企画・運営① 自園	テーマの設定「行事について考える」 ・全職員で幼児の実態を明らかにし、テーマの設定についての協議 ・研究の方向性について決定 「行事を作るとは一遠足で出会わせたい物、ことー」 (全職員)
5/○	園内研修の企画・運営② 自園	「テーマについての提案作成」(研修者) ・各クラスの遠足に向けての取組 ・遠足で子どもたちに体験してほしいこと、出会わせたい物、こと、そのための準備 「研修計画の作成、役割分担の決定」 (職員の得意分野を生かす) ・行事についての文献提案担当 ・遠足についての昨年度の記録提案担当 ・行き先の提案担当 ・配付資料の作成・準備
○/○	園内研修の企画・運営③ 自園	「研修計画、役割分担について説明ー1」(研修者) ・テーマについて提案 ・各教員からの資料に基づく提案 ・協議 ・協議の進行・まとめ (全職員)
○/○	園内研修の企画・運営④	「研修計画、役割分担について説明ー2」(研修者)

	自園	・ 前回の記録と、さらに明らかにしたいこと ・ 次回の提案事項の作成・説明資料準備 ・ 6 回目の研修の講師手配 ・ 職員に割り振った役割について助言 (全職員)
〇〇	園内研修の企画・運営⑤ 自園	「行事について考える」 ・ 前回の記録と、さらに明らかにしたいことの説明 ・ 協議の進行・まとめ (全職員)
〇〇	園内研修の企画・運営⑥ 自園	「外部講師による『幼稚園における行事の考え方』の講話と質疑」 (全職員)
〇〇	園内研修の企画・運営⑦ 自園	「行事について考える」(研修者) ・ シリーズで行ってきた園内研修のまとめの作成 (テーマのとらえ、協議の内容、まとめ)
〇〇	自己点検・自己評価①	「幼稚園の自己点検・自己評価―1」 ・ 自分の幼稚園の教育等に関する自己点検、自己評価について全職員に説明(研修者) ・ 自己点検、自己評価の実施 (全職員)
〇〇	自己点検・自己評価②	「幼稚園の自己点検・自己評価―2」 ・ 全職員の点検結果をまとめる ・ 次回提案資料の準備(説明資料の形式)
〇〇	自己点検・自己評価③	「幼稚園の自己点検・自己評価―3」 ・ 結果のまとめについて提案(研修者) ・ 努力点、さらに伸ばしたい点について具体的な方策を考え、それを明記した保護者や地域の方対象のパンフレットを作成する。 (全職員)

平成 年 月 日

(公立幼稚園)
〇〇教育委員会教育長 様

(国・私立幼稚園)
栃木県総合教育センター所長 様

上記を当該研修教員の研修計画とします。

幼稚園名

園 長 名

印

園内等における研修項目（例）

	項 目	内 容
保育の方法・展開	ア 指導計画の作成・検討 （指導案、評価、教材作成等）	○ 公開保育の日案を作成する。 園長をはじめ全職員で検討会を行う。
	イ 公開保育 ①園内を対象 ②保護者等を対象 ③未就園児の保護者等を対象	○ 公開保育を行う。保護者対象の場合、保育後に、保育の意図を説明する。
	ウ 保育研究	○ 保育研究（園長、教頭、主任、教員） ① 保育について（研修者） ② 協議（全員） ・子どもの学びについて ・環境の構成について ・教師の意図と援助について ③ まとめ（園長）
園内研修の企画・運営	ア 研修テーマの設定	※課題研究テーマを中心に進めると効果的である。
	イ 内容方法の検討 ・職員の得意分野を生かした研修への活用 ・研修テーマに迫るための資料準備	
	ウ 研修の実施（シリーズ化） 数回に分け、研修テーマを深める	
	エ 研修のまとめ ・研修テーマの捉え ・実践から ・結論	
課題研究	ア 課題研究のテーマの設定と研究実践 （課題研究のテーマ例） ・教育課程、指導計画の工夫・改善 ・協同して遊ぶようになるための教師の援助 ・規範意識の芽生えを培う経験 ・発達障害の理解と保育 ・小学校との連携 ・親も子も育つ子育ての支援 ・同僚性を発揮した園内研修の在り方 ・PDCAサイクルを生かした学校評価 等	○ 課題研究のテーマについて理解を深める。（４月） （例）幼児が協同して遊ぶようになるためには、どのような環境の構成が必要か。 ○ 保育実践での幼児の姿を記録にとる。 （４月～７月） ○ 記録について園内研修等で、多角的に検討する。 （５月～９月） ○ テーマに沿って検討した結果をまとめる。 ・テーマのとらえ ・実践から

		・ 結論 (1 0 月)
		○ 園内研修で発表する。 (1 1 月)
園 の 諸 課 題	ア 自己点検・自己評価	○ 「学校評価の手引」等を参考に自己評価を全職員で実施する。 (1 2 月)
		○ 結果をまとめる。(主任等)
		○ 結果について全職員で話し合い、各項目について具体的な改善策を考える。 (1 月～2 月)
	イ 説明責任・情報提供	○ 評価の結果と改善策を保護者や地域の方へのパンフレットとしてまとめる。 (2 月～3 月)
地 域 と の 連 携	ア 子育ての支援	○ 外部講師等による講話・演習 「親からの相談を受けたとき」
	イ 「親と子の育ちの場」としての幼稚園の在り方	○ 行事等の企画 地域のボランティアや保護者が運営する行事等の企画 例・絵本の読み聞かせ ・ 地域の人材を活用した体験活動 ・ スポーツ教室
そ の 他	ア 新規採用教諭に対する指導	○ 教師としての心構えについて ○ 接遇について ○ 指導計画について ○ 保育について ○ 個人懇談の仕方について ○ 幼児の危機管理について
	イ 地域環境探索	○ 保育に生かせる地域環境の实地踏査 ○ 地域環境のもつ教育的価値を一覧表にまとめる。

提出文書等チェックリスト

チェック欄	提出物	提出期限	提出した日
☐	研修計画書	6 月末	
☐	課題研究計画書	7 月 2 2 日（第 2 日）	
☐	課題研究報告書	1 月 6 日（第 6 日）	
☐	研修報告書	2 月末	
☐	研修に関する調査票		



お疲れ様でした。

栃木県総合教育センター幼児教育部
栃木県幼児教育センター

〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070番地

TEL 028-665-7215

FAX 028-665-7216

e-mail : yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp

URL: <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

